

## 第1回生駒市総合計画審議会（全体会）会議録

開催日時 令和3年5月18日（火）13時30分～14時57分

開催場所 生駒市役所4階 401・402会議室

出席者

（委員）中川委員、久委員、高取委員、森委員、森岡委員、鐵東委員、楠委員、  
浅間委員、藤尾委員、陽山委員、中山委員

（事務局）増田市長公室長、岡村企画政策課長、片山企画政策課計画係長、  
竹田企画政策課員、芳野企画政策課員

欠席者 村上委員

議事内容

1 開会

2 案件

（1）総合計画の進行管理について

（2）市民満足度調査について

（3）その他

3 閉会

以下、発言要旨

1. 開会

【事務局】 ただいまから第1回生駒市総合計画審議会を開催する。

【事務局】 はじめに本審議会に対して諮問を行う。第6次総合計画の進行管理について諮問させていただく。

【事務局】 続いて、増田市長公室長より挨拶を申し上げます。

【事務局】 （増田市長公室長挨拶）

2 案件

(1) 総合計画の進行管理について

【事務局】 それでは、会議次第に従って案件に入る。条例第6条において会長が議長となるので、ここからの議事については議長である会長に進行をお願いする。

【中川会長】 それでは、案件の1番目「総合計画の進行管理」について、お諮りしたい。事務局から説明をお願いする。

【事務局】 (資料2、資料3について説明)

【中川会長】 続いて、久会長代理より職員研修の報告と進行管理の注意点について説明をお願いする。

【久会長代理】 政策評価研修で職員にお願いしたことを共有したい。参加者同士で記載した検証シートを見せ合うことで、評価する側の視点になってもらった。評価は自分たちの仕事をより良くするために実施するということも伝えた。施策には目的があって、今回は「5年後のまち」がそれにあたる。1年間の仕事で「5年後のまち」をどれだけ達成できたかを市職員がチェックする。そのチェックが妥当かどうかを私たち審議会がチェックする。どうしても事業内容に関心がいきがちだが、「5年後のまち」にどれだけ近づけたかがポイントとなる。検証シートには、最も効果があった取組を3つ以内で記載してもらっている。できたかどうかを評価しがちだが、できていなかったとしても、アクションにつながられているかを評価する必要がある。できなかったことは認めて、その要因を分析してサイクルが回っているかどうかを評価する。去年は「がんばる」という書きぶりのシートが多かった。「どうがんばるか」を考える必要があることを研修で伝えた。私たちもこれらの観点でシートを見ることを理解してもらいたい。

【藤尾委員】 健康づくりの分野は、リモート利用も含めて新しい取組が進んでいる。行動を起こしていることを評価してもらいたい。

【久会長代理】 コロナ禍で思うように動けなかったことはポイントとなるが、今年も同じ状況は続いている。それを乗り切るための創意工夫ができているかを書いてもらうように研修では伝えた。

【森岡委員】 コロナ禍で行動を止めている傾向があるが、それが妥当だったかも含めて評価したい。体制だけをつくってあとは人任せになっている例もある。

「多様な主体との協創」欄は、取組の記載で終わっているが、結果が求められているので、そこまで踏み込む必要がある。

【久会長代理】 協創の成果というよりも、「5年後のまち」の実現にとって成果が出ているなら、この欄に記載してほしいことは研修でも伝えた。

【楠委員】 第2部会を担当する中で、期待していることを述べる。生駒市は2019年にSDGs未来都市に選定されている。政府も2050年までにノーカーボンを出して取組も本格化してきた。政府よりも先に生駒市は宣言していたことを誇らしく思う。しかし、SDGs推進課だけの仕事になっていないか。縦割りではなく横断的に取り組んでいるのか大きな目で見たい。市民、事業者、行政が三位一体で進めていく必要がある。今年度はそういう目でシートを見たいと思っている。

【久会長代理】 環境分野は、環境基本計画等分野別計画がいくつかあり、その中でも評価を実施している。役割分担は必要で、総合計画の進行管理では大きな目で広く見ていくことが求められている。

【中川会長】 行政では「協働 (co-production)」という言葉を使ってきている中、生駒市は「協創」を打ち出し、公益性の「生産 (create)」にレベルを上げたと思っている。部会で下位計画との連動性を問うことは歓迎したいが、全体をコントロールするのが総合計画の役割である。縦割りの長所は、専門性が強化されることである。それは民間も同じ。デモクラシーの弊害であり、大きな組織なら出てくるので、「だから行政は」という議論は辞めたい。公共の経営には専門性が必要で、現場の努力に報いることも求められる。

【中川会長】 それでは、総合計画の進行管理については、資料2、資料3の通りに取り扱うこととする。

## (2) 市民満足度調査について

【中川会長】 続いて、案件2番目の市民満足度調査について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料4について説明)

【中川会長】 事務局からの説明について、質問等はないか。

【陽山委員】 年代別のクロス集計はしていないのか。

- 【事務局】 資料には出していないが、実施している。
- 【浅間委員】 民生委員をされていて思うのは、高齢化の中、つながりが希薄になっている地域があるということ。鹿ノ台は高齢化率が50%を超えており、若い人がいかに転入してくるかが鍵となる。その要素として、地域の環境、人間関係、防災等がある。自助・共助・公助の中で今なんとかしたいのは互助である。そういう意味では、小さなコミュニティをつくって助け合うという趣旨の複合型コミュニティの発想はいいと思う。
- 【楠委員】 問7の「いきいきできる場所」がない人が多いが、過去のデータと比べてどうなのか。コロナ禍の影響もあるのではないかと考える。
- 【事務局】 新設した設問なので、今後も継続して傾向をみていきたい。
- 【森委員】 満足度調査と進行管理の関係性が分からない。
- 【事務局】 本調査では「5年後のまち」の進捗実感度や市民ができることの実施状況を確認している。簡易版の調査では、主要な項目だけ確認しているが、例えば「推奨意欲を持つ人の割合」など、総合計画の指標に設定しているものもある。
- 【鐵東委員】 雇用や消費のことはアンケートでは尋ねないのか。満足度とも関係するし、総合計画と連動するのではないと思う。
- 【事務局】 今回の資料には掲載していないが、普段のライフスタイルに関する設問で関連することは尋ねている。
- 【中山委員】 コロナ禍で、民生委員の活動もこれまでできていたことができなくなった。市民も色々できないことが多いと思う。リモートもなかなかできない。
- 【中川会長】 全国の自治会・町内会の活動が止まっている。
- 【高取委員】 「推奨度」と「居住の推奨度」はどう違うのか。また、「自分らしくいきいきできる場所」はアバウトな質問に感じる。
- 【事務局】 以前からの設問である「居住の推奨度」に加え、NPS（ネット・プロモーター・スコア）の設問を追加した。これは、企業において、顧客の愛着度を確認するために用いられている尺度で、他市との比較が可能であったため追加したものである。これによると、生駒市は他市よりも高い値になっていることが確認できた。「自分らしくいきいきできる場所」は、将来都市像を測る指標を検討した結果、試験的に追加した設問である。

【高取委員】 何を推奨するかは限定していないということか。

【事務局】 限定していない。

【高取委員】 回答しづらい設問は、真ん中に回答が集まる傾向にあるが、今回もそう  
なっているように見える。

【浅間委員】 「5年後のまち」が目的としてあるので、住民の実感が大事だと思う。

【中川会長】 調査のデータは活用できると思うが、調査の名称が良くないと思う。消  
費者満足とイコールになってしまう名称である。市民は消費者ではなく協  
創のパートナーである。「満足度」では消費者としての市民像を誘発してし  
まう可能性があるので、「市民評価度調査」くらいがいいのではないか。

【森委員】 まったく同意見。市民は主権者であり役割を持った存在なので、変更し  
た方がいい。

【久会長代理】 検証シートの中では、「市民実感度」となっているのに調査名は「市民  
満足度」となっている。調査ではライフスタイルに関する質問を設け、多  
変量解析も実施している。その中で、行政サービスを享受するタイプと自  
分たちでやるタイプの市民が出てきている。どういった層に対してどうい  
うアプローチをしていくのかも見えてきている。次回の会議でお示しでき  
れば。

【中川会長】 楽しみにしている。調査の名称は変えてもらう。30代の回答が少ない  
のは全国的な傾向。生駒市は様々なランキングにも入っているが、転落前  
の前兆かもしれない。30代、40代の貧困化が進んでおり、4割強が派  
遣労働者となり一戸建ても買えない。危機的な状況なので思い切った議論  
に切り込む必要があり、どうすればいいか真剣に考える審議会でありたい。

【久会長代理】 どんな人が住むかは、住宅供給と相関がある。しかし、住宅供給は民間  
ベースになる。生駒市の住宅事情をみたときに、偏りが生じており、特に  
月2～3万円程度の集合住宅が欠けている。今はどこでも仕事ができる状  
況になり、地価の高い生駒で住む必要もなくなっている。これから先、郊  
外住宅地が一番厳しい状況になる。過去の栄光だけでは厳しいので、お金  
をかけずにやっている人をまちづくりに活かす新しいモデルが必要。

【中川会長】 以上で本日の会議の案件は終了するが、事務局から伝達事項をお願いす  
る。

### 3 閉会

【事務局】 (今後のスケジュール等について説明)

【中川会長】 それでは、これをもって第1回生駒市総合計画審議会全体会を閉会する。

— 了 —